

第3次教育振興基本計画に係る計画を支える取組について

1 計画を支える取組について

次の視点を踏まえ、計画を支える取組を設定するか検討する。

※第3回策定部会資料引用

《検討の視点》

- ・国の第4期教育振興基本計画の二つのコンセプト「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」や、複数の基本方針にまたがって取り組む必要がある教育DXなどの内容の位置付けの整理
- ・第2次教育振興基本計画で位置付けた「安心して教育を受けられる環境の整備」と「市民協働の推進」の継続性の要否

第1次計画	《該当なし》
第2次計画	「<u>安心して教育を受けられる環境の整備</u>」と「<u>市民協働の推進</u>」は、本市の教育施策に不可欠であり、市民生活を支える普遍的な取組として重要である。これを「<u>計画を支える『安心』と『協働』</u>」と位置付け、<u>基本理念・基本目標と同様に、12年間にわたり計画の実現を支えるものとする。</u> 【安心】 家庭・学校・地域が安心できる学びの場となることが重要である。教育施設の安全確保や学習機会の保障に加え、個々の多様な支援が求められる。安全な社会づくりへの意識向上も必要であり、市全体で学びの保障に取り組む。 【協働】 本市の教育には市民協働が不可欠である。家庭・地域・学校が教育課題を共有し協力しながら学校を発展させ、地域と学校が連携してネットワークを構築し、地域住民のつながりを深めることで、活力ある地域づくりを目指す。

2 参考（教育振興基本計画庁内推進委員会の意見）

※第3回策定部会参考資料引用

- ・第2次教育振興基本計画では、「安心」と「協働」を教育委員会の目標として設定していたが、第3次教育振興基本計画は、幼保小連携や生涯学習など、対象が広がり要素が増えるため、支える取組は設定せず、シンプルにした方がよい。